

教科名	職業	学年	1 学年
-----	----	----	------

目 標	職業に係る見方・考え方を働かせ、職業など卒業後の進路に関する実践的・体験的な学習を通して、よりよい生活の実現に向けて工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 1 職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。 2 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。 3 よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。 ※目標はさらに1段階と2段階に分かれる。
学年の目標	勤労への意欲をもち、職業生活に必要な基礎的・基本的な態度を育てる。

月	時 数	単元名 題材名	単元目標 (観点別の目標)	学習内容	評価の観点 (生徒の達成度をA～Dの4段階で総合評価)
4	1	「オリエン テーション」	【知識及び技能】 ・年間の学習内容を大まかに理解し見通しをもつことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・進路決定までの流れをイメージすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・職業の学習に関心をもち、主体的に学習に取り組むことができる。	オリエンテーション ①1 学年職業の学習について知る。 ②進路決定までの流れについて知る。	【知識・技能】 1 段階：年間の学習内容を大まかに知ることができる。 2 段階：年間の学習内容を理解することができる。
					【思考・判断・表現】 1 段階：写真や予定表から進路決定までの流れを大まかにイメージすることができる。 2 段階：写真や予定表から進路決定までの流れをイメージすることができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：進路に向けての動きについて関心をもち、指名されたとき発言することができる。 2 段階：進路に向けての動きについて関心をもち、必要な場面で発言することができる。
					評価方法：授業プリント、授業態度
5	1	「職業生活」	【知識及び技能】 ・働く目的を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・働く生活を想像し、働くことで得られることについて考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・働く目的について他の生徒と意見を交流することができる。	A職業生活 ア勤労の意義 ①働く目的について知る。 ②働くことで得られるメリットについて考える。	【知識・技能】 1 段階：働く目的について大まかに理解することができる。 2 段階：働く目的について理解することができる。
					【思考・判断・表現】 1 段階：働くことで得られることについて、選択肢から自分の考えを伝えることができる。 2 段階：働くことで得られることについて、自分の考えを表現することができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：他の生徒に聞かれたときに自分の意見を伝えることができる。 2 段階：自ら自分の意見を伝え、他の意見にも耳を傾けることができる。
					評価方法：授業プリント、発表、授業態度
5 6	2	「自己理解」	【知識及び技能】 ・自己理解の意義について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・将来の職業生活を見据え、生活する力、働く力を自己評価することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・将来の進路に向けて、現在の課題に向けた取り組みができる。	A職業生活 イ職業 ①自己理解の意義。 ②自分のことを知る。 ③自分の役割、必要な課題を考える。 ④生活力、働く力について知る。 【社会：社会参加ときまり】 【家庭：自分らしい人生をつくる】	【知識・技能】 1 段階：自己理解の意義について大まかに理解することができる。 2 段階：自己理解の意義について具体的に理解することができる。
					【思考・判断・表現】 1 段階：チェック表をもとに、働く力、生活する力を評価することができる。 2 段階：チェック表をもとに、働く力、生活する力を評価し、自分の長所と短所を理解することができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：教師の助言を受けながら今後の生活で改善すべきことを考えることができる。 2 段階：今後の生活で改善すべきことを考えることができる。
					評価方法：授業プリント、授業態度

6 7 8 9	5	「いろいろな仕事」	【知識及び技能】 ・身の回りの仕事、卒業生の仕事を知り、さまざまな職業について知ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の希望する仕事について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・将来の進路に向けて、今後の目標を設定することができる。	A職業生活 イ職業 ①身の回りの仕事について、生徒同士で話し合う。 ②身の回りの仕事にどのようなものがあるか知る。 ③卒業生がどのような職場で働いているかを知る。 ④仕事と適性、必要な力について知る。 ⑤福祉的就労と一般就労について知る。 【国語：話す・聞く】 【家庭：自分らしい人生をつくる】	【知識・技能】 1段階：映像や写真から身近な仕事について大まかに知ることができる。 2段階：身の回りの仕事や卒業生の進路先について知ることができる。 【思考・判断・表現】 1段階：教師の助言を受けながら選択肢の中から自分の希望する仕事について考えることができる。 2段階：選択肢を参考に自分の希望する仕事について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1段階：教師の助言を受けながら進路実現に向けて自分がすべきことを考えることができる。 2段階：進路実現に向けて自分がすべきことを考えることができる。 評価方法：授業プリント、授業態度
			【知識及び技能】 ・作業学習の概要（目的、日程、持ち物、作業内容）を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作業学習に必要な心構え、態度について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作業学習への目標を掲げ、意欲的に取り組むことができる。	C産業現場等における実習 ①実習の目的、日程、持ち物、作業内容について知る。 ②実習に必要な態度を知る。 【作業学習：校外作業学習（事前学習）】 ※校外作業学習の事前・事後学習は作業学習の時数（9・2）と合わせて実施する。実習期間は作業学習の時数で実施。	【知識・技能】 1段階：校外作業学習の概要を大まかに理解することができる。 2段階：校外作業学習の概要を理解することができる。 【思考・判断・表現】 1段階：教師の助言を受けながら、校外作業学習で必要な心構え、態度について考えることができる。 2段階：校外作業学習で必要な心構え、適切な態度について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1段階：教師の助言を受けながら校外作業学習に向けての目標を立てることができる。 2段階：校外作業学習に向けての目標を立てることができる。 評価方法：授業プリント、授業態度
			【知識及び技能】 ・見学先の職場で、働くために必要な力や態度について知ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・見学先の職場で感じたこと、学んだことを発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・見学を通して、今後に向けた目標を設定することができる。	A職業生活 イ職業 B情報機器の活用について ①見学する職場の情報を収集し、職場の方への質問事項を考える。 ②職場や施設を見学する。 ③職場の方へ話し方の態度を意識して、質問をする。 ④見学を振り返り、感想をまとめる。 ⑤見学会を通して、今後の目標を考える。 【国語：話す・聞く】 【社会：社会参加ときまり】 【情報：iPadの利用】	【知識・技能】 1段階：働くために必要な力、態度を大まかに理解することができる。 2段階：働くために必要な力、態度を理解することができる。 【思考・判断・表現】 1段階：教師の助言を受けながら、見学先で感じたことや学んだことを簡単な文章にまとめることができる。 2段階：見学先で感じたことや学んだことを簡単な文章にまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1段階：教師の助言を受けながら見学を振り返り、今後自分の生活ですべきことを考えることができる。 2段階：見学を振り返り、今後自分の生活ですべきことを考えることができる。 評価方法：授業プリント、発表、授業態度
			【知識及び技能】 ・現場実習の概要（目的、日程、持ち物、作業内容）を理解することができる。 ・卒業後の職業生活に必要な知識や態度、技能を理解し、身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現場実習に必要な心構え、態度について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現場実習への目標を考え、意欲的に取り組むことができる。 ・働くことを通して、就労意欲を高めながら、卒業後の進路について考えることができる。	C産業現場等における実習 ①現場実習の目的、日程、持ち物、作業内容について知る。 ②産業現場での実習において必要な心構えや態度を知る。 ③現場実習を振り返り、良さと課題などについて考える。 ④卒業後の進路に向けて、今後の目標等について考える。 【作業学習：現場実習（事前学習）】 ※現場実習の事前・事後学習は作業学習、国語、総合の時数（18・6）と合わせて実施する。実習期間は作業学習の時数で実施。	【知識・技能】 1段階：現場実習の概要を大まかに理解することができる。 2段階：現場実習の概要を理解することができる。 【思考・判断・表現】 1段階：教師の助言を受けながら、現場実習で必要な心構え、態度について考えることができる。 2段階：現場実習で必要な心構え、適切な態度について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1段階：教師の助言を受けながら現場実習を振り返り、今後の学校生活で取り組むべきこと等について考えることができる。 2段階：現場実習を振り返り、今後の学校生活で取り組むべきことについて考えることができる。 評価方法：授業プリント、授業態度
10 11 12	4	「現場実習（事前・事後学習）」			

12	4	「勤労と生活」	【知識及び技能】 ・将来の職業生活を見据えて、健康管理や余暇活動について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・将来の生活に必要なお金について、収入に応じた金銭管理の仕方を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自らが卒業後の生活を考え、その生活に向けた意欲と態度を養うことができる。	A職業生活 イ職業 B情報機器の活用について ①卒業後の生活を考え、健康的な生活の送り方について知る。 ②余暇の活動について、現在の趣味や休みの過ごし方を発表する。 ③将来的にどのような余暇の過ごし方などがあるか話し合う。 ④今、考えられるお金の感覚について知り、実際の金額について理解する。 ⑤将来の生活でどのような場面でお金がかかり、1ヶ月にどれくらいの金額がなければ生活できないか理解する。 ⑥実際生活していくためには、どのような態度、姿勢で暮らしていかなければいけないか知る。 ⑦情報の収集、収集した情報の発表など 【家庭：食生活、経済生活を営む、住生活を作る】 【情報：iPadの利用】	【知識・技能】 1段階：健康管理や余暇活動の意義について大まかに理解することができる。 2段階：健康管理や余暇活動の意義を理解することができる。 【思考・判断・表現】 1段階：一人暮らしに必要な金額について考えることができる。 2段階：一人暮らしに必要な金額とその内容について具体的に考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1段階：現在の自分の余暇について考えることができる。 2段階：現在の自分の余暇と、将来やってみたい余暇について考えることができる。 評価方法：授業プリント、授業態度
12	1	「進路希望」	【知識及び技能】 ・進路希望調査の目的を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・卒業後をイメージし、働く場所、生活する場所について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自らの進路について考えることができる。	A職業生活 イ職業 ①進路希望調査について考える。 ②卒業後の働く場所、生活の場について自分の希望を考える。 【情報：iPadの利用】	【知識・技能】 1段階：進路希望調査の目的を大まかに理解することができる。 2段階：進路希望調査が次年度の現場実習につながるものであると理解することができる。 【思考・判断・表現】 1段階：希望する働く場所、生活する場所について選択肢から選ぶことができる。 2段階：希望する働く場所、生活する場所について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1段階：進路希望調査票の書き方について理解することができる。 2段階：自分の将来に関わることでありと理解し、不明な点は教師に確認しながら取り組むことができる。 評価方法：授業プリント、授業態度
12	4	「社会のしくみと職業」	【知識及び技能】 ・講話を聞くことで、働くために必要な力や態度について知ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・将来の職業生活を見据え、必要な課題を設定することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・講話を通して、今後に向けた目標を設定することができる。	A職業生活 イ職業 ①講話を聞く態度を知る。 ②講師の方に聞きたい質問事項を考える。 ③講師の方に実際に質問をする。 ④講話を通して、感想をまとめ、今後の生活に生かせるように目標を立てる。 【国語：話す・聞く】 【社会：社会参加ときまり】	【知識・技能】 1段階：講話の内容から、働くために必要な力を大まかに理解することができる。 2段階：講話の内容から、働くために必要な力を理解することができる。 【思考・判断・表現】 1段階：講話の内容から、自分の課題に気付くことができる。 2段階：講話の内容で自分に必要なこと、課題に気付きメモすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1段階：講話を振り返り、自分の生活に必要な力について考えることができる。 2段階：講話を振り返り、自分の生活に必要な力と今後の目標について考えることができる。 評価方法：授業プリント、授業態度
3	1	「勤労と生活」「1学年のまとめ」	【知識及び技能】 ・1年間の学習を振り返り、理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・将来的に社会人として、どのような生活を送りたいか考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・2学年に向けて、目標を立てることができる。	A職業生活 イ職業 ①校外作業学習、現場実習の反省と振り返りをもとに具体的な進路の方向性について考える。 ②今後の進路の流れに見通しをもち、2学年の目標を立てる。 【国語：話す・聞く】 【家庭：自分らしい人生をつくる】	【知識・技能】 1段階：校外作業学習、現場実習で学んだことを大まかに理解することができる。 2段階：校外作業学習、現場実習で学んだことを理解することができる。 【思考・判断・表現】 1段階：教師の助言を受けながら将来希望する仕事、生活について考えることができる。 2段階：将来希望する仕事、生活について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1段階：1年間の学習を振り返り、2学年で取り組むべきことについて考えることができる。 2段階：1年間の学習を振り返り、2学年で取り組むべきことを具体的に考えることができる。 評価方法：授業プリント、授業態度